

3年次学年スローガン

夢拓け！58回生の大舞台

1. 第2回考査 → 7月進研記述 → 夏の学習へ

第2回考査が終わりました。今回の考査範囲はいつもに比べ広がったかもしれませんが休業中の学習量や、部活動引退後の学習習慣が試された考査だったと思います。考査勉強の学習量をそのまま継続し、受験生としての自覚を持ち、次の目標に向かっていきましょう。その目標は7月進研記述です。

■夏休み以降の受験勉強の課題を発見しよう！

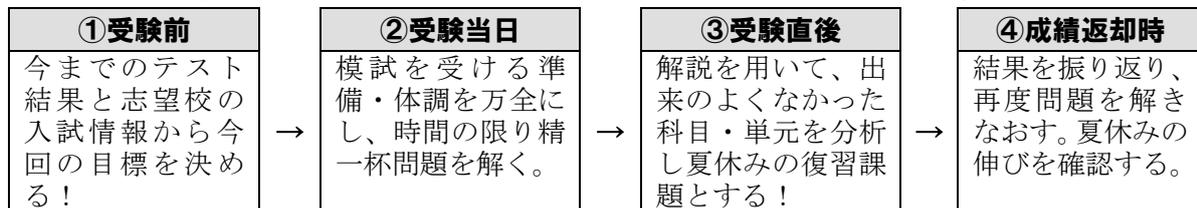
7月進研記述模試受験および成績から、夏休み以降の受験勉強の課題をつかもう。

■最新入試情報を反映した志望校成績を活用しよう！

全国規模の受験母集団でかつ2021年度入試科目・配点など最新入試情報を反映した成績データが返却されるので、志望校合格に向けて模試の結果を活用しよう。

2. 模試を受験する目的を考える

これから多くの模試を受けます。模試を受けるたびに、志望校調査があり、判定が返されます。その判定をみて一喜一憂するのではなく、何がどこまでわかっていて、次にどこまで理解すればよいのかを知らなくてはなりません。模試を受けることによって受験生全体からみた自分の位置がわかります。同じ志望校を志願している生徒のレベルを知ることもできます。模試を受けて、判定だけを見るのではもったいない。7月進研記述では、夏休み前の実力を確認しておくには最良の対外模試です。その出来具合いや自己採点結果から、みなさんが夏休み中に強化しておかなければならないポイントを明らかにしましょう。



7月1日(水) LHRで実施

3. この夏のテーマ

圧倒的学習量

先日の考査最終日に学年全体で集まる機会がありました。学年主任から以下のような内容を伝えました。

この夏は圧倒的な学習量の増加、なりふりかまわず勉強する、質より量、といったように学習時間の増加を求めました。受験生の夏はとにかく自分を追い込み、走りこむことが大切です。小手先のテクニックだけ身につけても、本気の勝負では歯が立ちません。夏に努力したことが受験直前の不安な気持ちを救ってくれます。安易な方法・楽な手段での合格はあり得ません。この夏が一番頑張る時期です。大学入試という大きな目標に向かって走る受験生には、「第一志望に合格しよう」と決意して、努力することがとっても大切なこと」を実感してほしいと思います。三者面談では担任からこの夏にすべきことが提案されます。志望校検討会で議論した内容を盛り込みながらアドバイスしていきます。

7月20日(月)～31日(金)は三者面談です。お忙しいとは思いますがよろしく願いいたします。